

モデル事業のデータ提出等について

厚生労働省保険局
高齢者医療課

平成28年度 高齢者の低栄養防止・重症化予防推進事業実施状況

(8月内示時点)

	広域連合数 ※1	事業数 ※2	実施広域(市区町村) ※3
栄養指導	10	10	茨城(東海村)、埼玉(和光市)、神奈川(大和市)、愛知(大府市)、三重(津市)、福岡(豊前市)、長崎広域、大分(中津市)、宮崎(宮崎市)、沖縄(糸満市)
口腔指導	10	11	岩手(宮古市)、埼玉(和光市)、新潟(新潟市)、長野(塩尻市)、滋賀(竜王町)、大阪(岬町、箕面市)、兵庫(姫路市)、高知(土佐清水市)、福岡(豊前市)、大分(中津市)
訪問歯科健診	16	37	青森(青森市、西目屋村)、岩手(宮古市)、東京(武蔵野市、中央区、千代田区)、神奈川(厚木市)、新潟(新潟市)、長野(塩尻市)、岐阜県(岐阜市、各務原市、可児市、揖斐川町、大野町、池田町、御嵩町)、三重(鈴鹿市、名張市、亀山市、伊賀市)、大阪(河内長野市、堺市、摂津市、泉大津市、枚方市、箕面市)、兵庫(神戸市、姫路市)、島根広域、山口(山口市、萩市、阿武町)、香川広域、高知(安芸市、四万十市)、長崎広域、宮崎広域
服薬指導	6	6	北海道(北見市)、三重(桑名市)、大阪(高石市)、長崎広域、熊本(八代市)、宮崎広域
重症化予防	11	11	北海道(妹背牛町)、茨城(河内町)、神奈川(大和市)、石川広域、愛知(東浦町)、鳥取(鳥取市)、香川広域、福岡広域、長崎広域、鹿児島広域、沖縄(糸満市)
包括アセスメント	2	3	愛知(大府市)、広島(呉市、大崎上島町)
複合的取組	5	5	長野(佐久市)、岐阜広域、大阪(大阪狭山市)、岡山(勝央町)、宮崎(美郷町)
研修	2	3	岐阜広域・岐阜(岐阜市)、大分(中津市)
合計(実数)	30	77	

※1 1つの広域連合で複数のメニューを実施していることがあるため、各メニュー別の広域連合数を足しあげた値と合計値は一致しない。

※2 1つの事業ではあるものの、栄養と口腔等、複数のメニューを同時に実施している事業があるため、事業数を足しあげた値と合計値は一致しない。

※3 広域連合が市町村に委託等せず、直接事業者等により実施する場合は、広域連合名を標記。

モデル事業のデータ提出について

平成28年度 高齢者の低栄養・重症化予防等事業

【検討の目的】

- 事業の効果的・効率的な実施とともに、実施についての説明責任を果たし認識の共有を促進するためにも、エビデンスに基づいた事業展開が重要となります。
- 厚生労働省では、全国で高齢者の特性を踏まえた保健事業を実施いただくため、補助事業の参加者等のデータを提出いただき、事業の効果測定に有用な指標を検討するとともに、エビデンスに基づいた効果的・効率的な事業のあり方を検討することとしております。

【提出の範囲】

- 提出いただくデータは、①保健事業の概況をみるマクロデータと、②匿名化された個人別の情報となります。
- つきましては、P. 5のスケジュールで、事業の参加者(介入群)並びに比較対照とする者(対照群)等のデータについて可能な範囲で提出をお願いいたします。
- なお、対照群としては、同一の基準により抽出した対象者のうち、不参加等のため介入しなかった者とすることを想定しています。この場合、事業開始時点で介入・対照の割り付けを行うのではなく、事業終了時などに結果として不参加の者等を対照群として集計します。
- 経年的な効果検証を可能とするために、「個人別ID管理シート」を用意しています。個人管理の際など活用ください。本シートの提出は不要です。
- 様式4健診結果データ、様式5医療・介護レセプトデータについては、後期高齢者医療広域連合に協力いただきKDBデータ等を活用の上、提出いただくことを想定しています。

		様式	提出時期			
			平成29年1月	平成29年3月 末	平成30年2 月末	平成31年3 月末
マクロデータ（健診・歯科健診・レセプト・介護データ）		様式1	△ (27年度分)	● (28年度分)	● (29年度分)	○ (30年度分)
個人別データ	個人別ID管理シート	自治体内資料	提出不要	提出不要	提出不要	提出不要
	個人別ベースライン情報	様式2	△	●		
	介入結果データ	様式3	△ 28年度介入一部	● 28年度全介入分		
	健診結果データ	様式4	△ (27年分)	● (28年分)		
	医療・介護レセプトデータ	様式5	△ (27年分)	● (28年分)	● (29年分)	○ (30年分)

△：協力可能な自治体、●：必須、○：提供を求める可能性があるもの

※平成29年度モデル事業対象者分については、概ね1年間後ろ倒しのスケジュールで提出依頼の予定。

【協力をお願い】

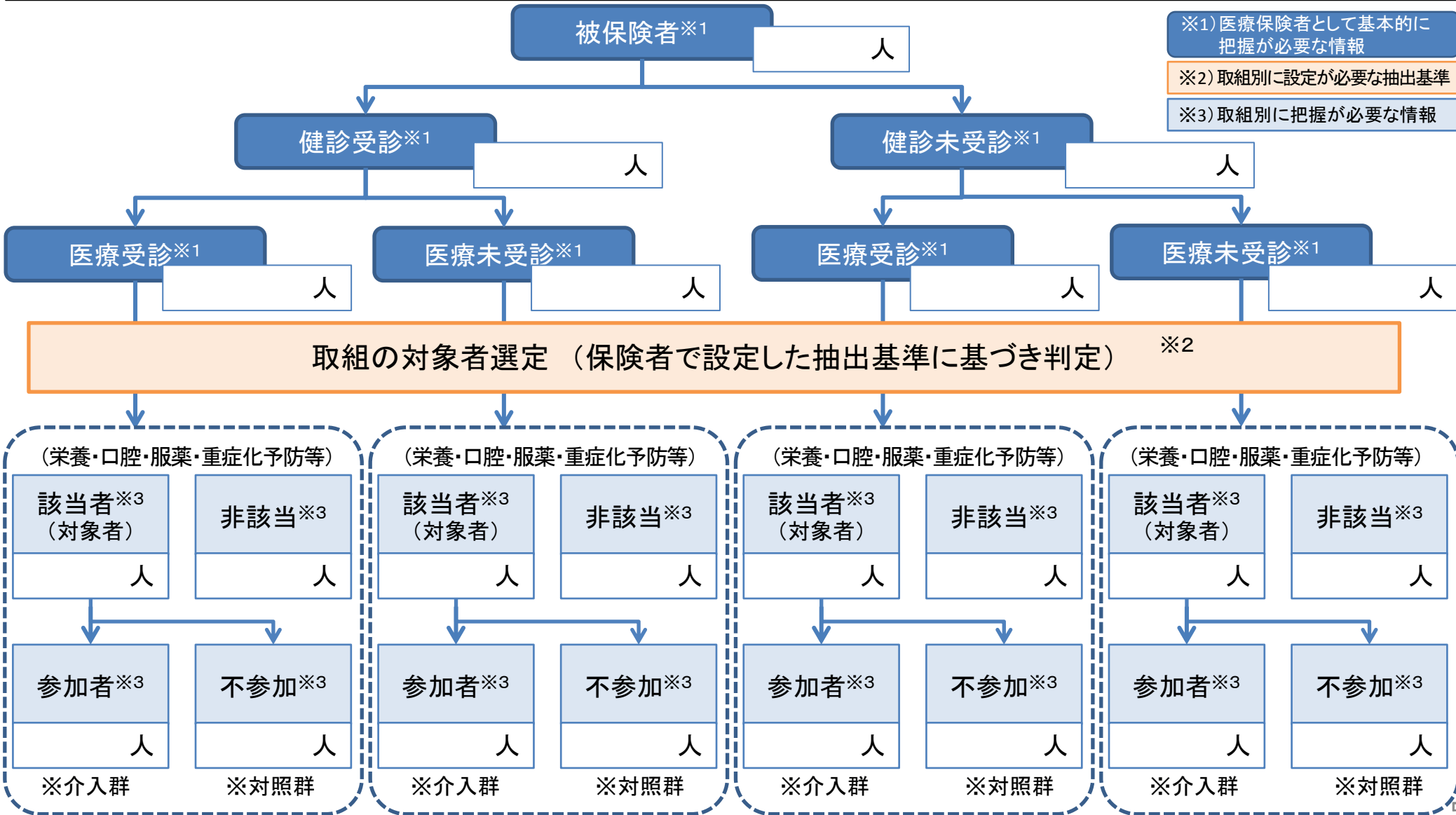
- 平成28年度においては、データ提出の容易さも含め検討するため、幅広い提出をお願いしております。そのため、平成28年6月20日付け事務連絡でお示した以外の項目も予定しておりますが、可能な範囲ではあります。できるだけ多くのご協力方よろしく申し上げます。
- また、協力可能な自治体におかれては、12月実施分までの中間報告を1月中にお願いします。今年度のガイドライン(暫定版)の紹介事例とすることを予定しています。(※協力可能な自治体はお申し出いただければ、個別に依頼させていただきます。)

※ご提出いただいたデータにつきましては、厚生労働省ならびに本事業の事務局である委託事業者(平成28年度はみずほ情報総研株式会社)のみが、本事業の効果検証並びに今後の取組に向けた検討、普及等の目的についてのみ使用させていただきます。※個別データが公表されることはありません。また、保険者名等が入る会議資料を作成する場合、事前の了解を得ることを前提としております。

対象者の全体像把握（フローイメージ）

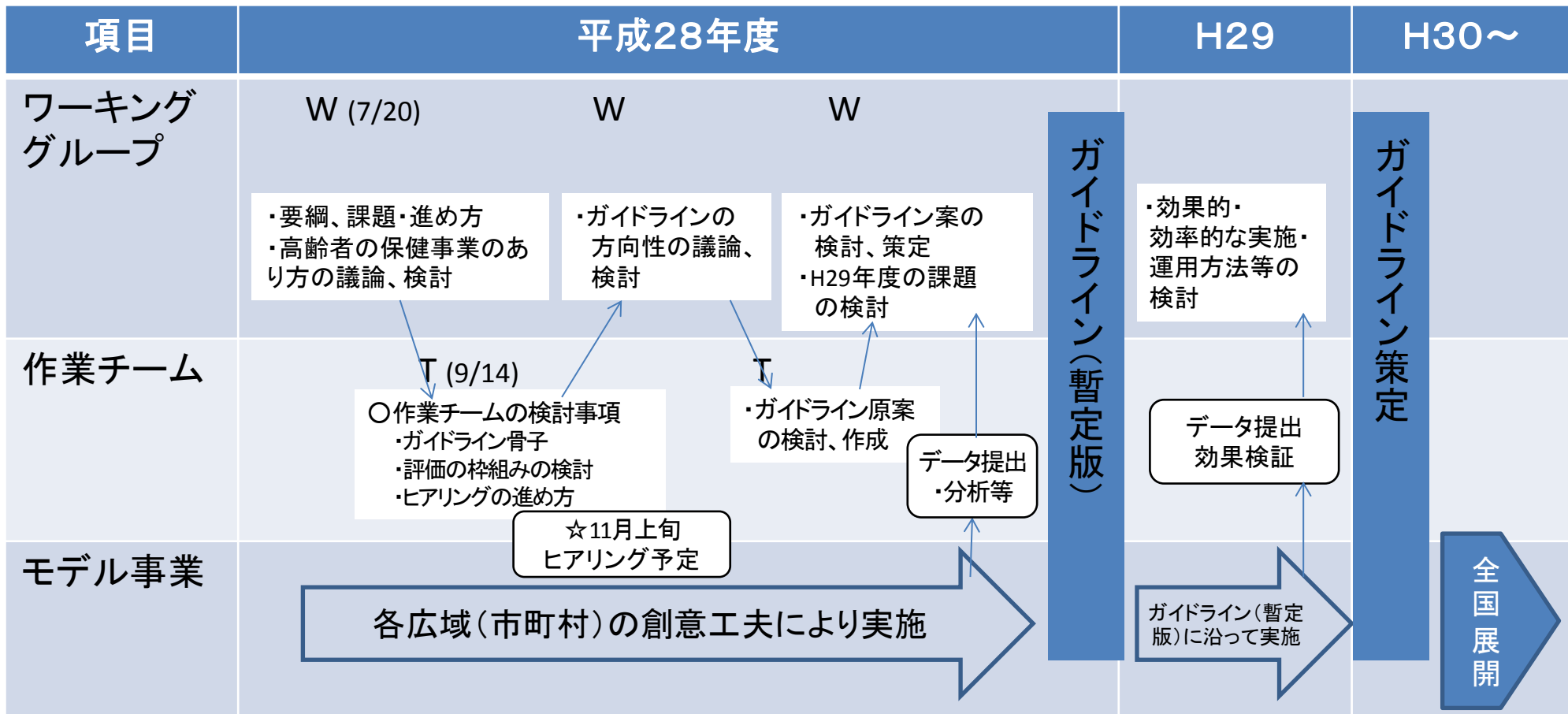
別紙2参考

- 事業の計画段階で、全体像（フロー）を把握することにより、ターゲットを明確にして、事業規模、全体への影響、カバー率等を検討する。
- 一般的に抽出基準の該当者を「対象者」とするが、実施体制・マンパワー・地域資源等から、優先度に応じてさらに絞り込むこともある。
- 事業評価には対象者が明確であることが必要となり、対象者のうち、参加者＝介入群、不参加者＝対照群（暫定的）として効果を比較することができる。この場合、分母については、同一の抽出基準該当者で設定する。



検討の進め方・スケジュール

- ワーキンググループにおいては、高齢者の保健事業のあり方について、先行的な研究成果を踏まえ方向性を議論、検討いただく。
- その検討の方向性に沿って、作業チームにおいて、先行的な現場での取組内容を踏まえながら、より具体的な保健事業の実施内容について検討を進める。
- 作業チームにおいて検討された内容について、ワーキンググループに報告し、高齢者の保健事業のあり方の成案を得るとともに、最終的には、広域連合が取組の参考とするガイドラインなどを策定いただく。
- 平成28年度についてはガイドライン（暫定版）を、平成29年度においては、モデル事業の更なる効果検証を通じてガイドライン成案（事例集合む）を策定いただく。



參考資料

1. 先行的事業とモデル事業について

高齢者の保健事業のあり方検討ワーキンググループ作業チーム（第1回）

平成28年9月14日（水）

資料5（抜粋）

1) 平成27年度先行的事業の概要

専門職による相談・訪問事業として、体重減少や低栄養、筋量低下等による機能低下や疾病等の課題に対応するため、高齢者の特性を踏まえた重症化予防や低栄養防止などの取組を市町村等の創意工夫により実施。地域の実情に応じ、既存の拠点（地域包括支援センター、保健センター等）を活用し、課題に応じた専門職が相談・指導に対応。

- ① 専門職による相談・訪問指導（栄養指導・口腔相談・服薬相談・健康、医療、介護等に関する困りごと相談）
- ② 在宅要介護者等への訪問歯科健診

2) 平成28年度モデル事業「高齢者の低栄養・重症化予防等事業」の概要

被保険者の健康を守り自立を促進し、低栄養、筋量低下等による心身機能の低下の予防・生活習慣病の重症化予防等を行うため、被保険者に対して専門職（管理栄養士、歯科衛生士、薬剤師、保健師等）による立ち寄り型の相談や訪問指導、訪問歯科健診を実施する。

< 事業内容 >

- ① 栄養指導
- ② 口腔指導（訪問歯科健診含む）
- ③ 服薬指導
- ④ 生活習慣病重症化予防
- ⑤ 心身機能の包括的アセスメント
- ⑥ 複合的な取組
- ⑦ 研修

< 補助対象となる事業の要件 >

- ① 対象者の抽出基準が明確であること。
- ② かかりつけ医と連携した取組であること。
※かかりつけ医や医師会との連携をいい、連携とは、情報提供、助言、実施協力等の関わりを含む
- ③ 保健指導を実施する場合には、専門職が取組に携わること。
- ④ 事業の評価を実施すること
- ⑤ 地域の実情に応じて各都道府県の糖尿病対策推進会議等との連携を図ること。
※糖尿病性腎症重症化予防事業を行う場合の要件。
※直接又は都道府県を通じた糖尿病対策推進会議等との連携をいい、連携とは、情報提供、助言、実施協力等の関わりを含む。

高齢者の低栄養防止・重症化予防等の推進

平成28年度予算額 3.6億円(新規)

経済財政運営と改革の基本方針2015(平成27年6月30日閣議決定)

(インセンティブ改革)

民間事業者の参画も得つつ**高齢者のフレイル対策を推進する。**

(公的サービスの産業化)

民間事業者も活用した保険者によるデータヘルスの取組について、中小企業も含めた企業による健康経営の取組との更なる連携を図り、健康増進、重症化予防を含めた疾病予防、重複・頻回受診対策、後発医薬品の使用促進等に係る好事例を強力に全国に展開する。

概要

- 低栄養、筋量低下等による心身機能の低下の予防、生活習慣病等の重症化予防のため、高齢者の特性を踏まえた保健指導等を実施。
- 後期高齢者医療広域連合において、地域の実情に応じて、地域包括支援センター、保健センター、訪問看護ステーション、薬局等を活用し、課題に応じた専門職(管理栄養士、歯科衛生士、薬剤師、保健師等)が、対応の必要性が高い後期高齢者に対して相談や訪問指導等を実施。
〈例〉 ・低栄養、過体重に対する栄養相談・指導 ・摂食等の口腔機能低下に関する相談・指導 ・外出困難者への訪問歯科健診 ・複数受診等により服用する薬が多い場合における服薬相談・指導 等

推進のための事業イメージ

保健センター 地域包括支援センター



診療所・病院



歯科医院



薬局



訪問看護ステーション



専門職

訪問指導

相談



被保険者

低栄養・過体重、
摂食等の口腔
機能、服薬など

(参考)高齢者の特性(例:虚弱(フレイル))

加齢とともに、心身の活力(例えば筋力や認知機能等)が低下し、生活機能障害、要介護状態、そして死亡などの危険性が高くなった状態。

加齢に伴う変化

- ・食欲の低下
- ・活動量の低下(社会交流の減少)
- ・筋力低下
- ・認知機能低下
- ・多くの病気をかかえている

危険な加齢の兆候(老年症候群)

- ・低栄養
- ・転倒、サルコペニア
- ・尿失禁
- ・軽度認知障害(MCI)

フレイルの多面性

閉じこもり、孤食

社会的

身体的

精神的

低栄養・転倒の増加
口腔機能低下
意欲・判断力や
認知機能低下、
うつ

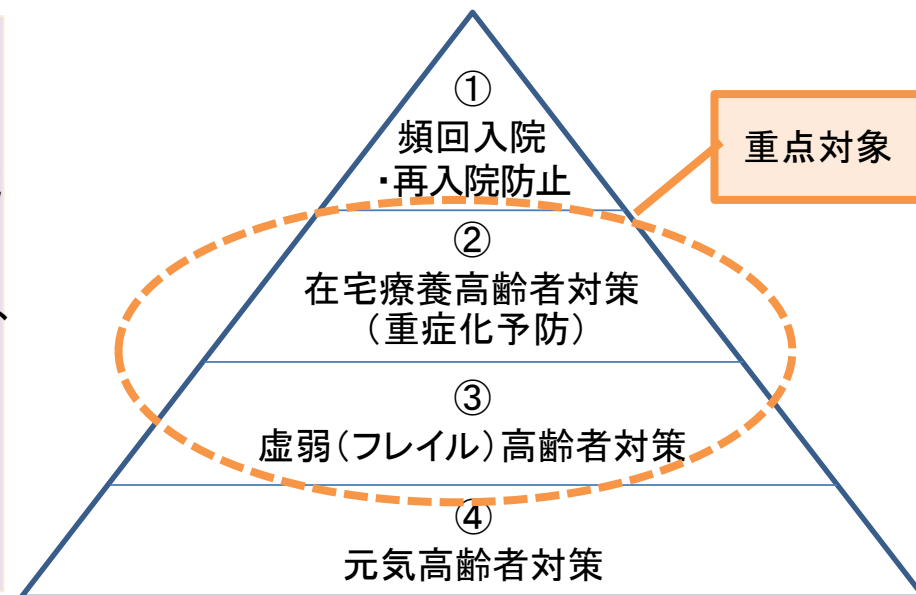
適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能。 9

(1)【医療保険者の視点から見た保健事業のあり方】

- 医療保険者の視点では、医療費適正化も重要な課題。健診により異常値を発見し薬物治療につなげていくだけでなく、生活習慣改善による健康支援を充実させることが重要。
- 後期高齢者医療広域連合の保健指導等については、高齢者の慢性疾患の状況や処方医薬品の状況を統合した対応が可能であることから、疾病の重症化予防や服薬調整のためにも重要な役割を果たすことが期待される。
自立度の高い高齢者については、前期高齢者に引き続き循環器疾患予防・改善のための保健指導が望ましい。また、後期高齢者においては、多病、多剤服用の実態があることから多病のスクリーニングと多剤処方による薬剤有害反応の予防、服薬管理が重要。
- 後期高齢者では、医療と保健を一体として提供する必要があるため、医療機関と広域連合の連携体制の構築が不可欠。地域で一体となって対策を推進することが望ましい。

(2)【後期高齢者医療における健康支援のあり方】

- 後期高齢者医療広域連合は、その保有するレセプトデータや健診データを分析の上、被保険者の状態に応じた保健指導等の企画・実施が求められる。
- 被保険者の健康状態を階層化し、各階層の特性に応じた対策により、効果的、効率的な事業展開が期待。
- 当面の間、主に②、③の階層を重点的に実施する事が適当。②の階層については、疾病の重症化を予防するため、かかりつけ医と連携の上、包括的な管理を行う。③については、栄養指導等のフレイル対策を行う。なお、③や④の階層は介護予防との連携が重要。



高齢者の保健事業 目標設定の考え方

在宅で自立した生活がおくれる高齢者の増加（入院率・入外比、疾病別医療費、要介護度）

フレイル（虚弱）の進行の防止

生活習慣病等の重症化予防

高齢による心身機能の低下防止
（老年症候群）

健康状態に課題がある
高齢者の減少

慢性疾患の
コントロール

服薬状況

低栄養

相互に影響

心身機能が低下した
高齢者の減少

口腔機能

認知機能

運動機能

高齢者の健康状態・フレイルの状態、生活状況等の包括的な把握

適正受診・服薬

- ・かかりつけ医
- ・受診中断の早期対処
- ・重複・残薬指導

禁煙・適正飲酒

- ・禁煙
- ・過量飲酒の減少

栄養・食生活

- ・減塩、水分調整
- ・たんぱく摂取
- ・肥満者の維持・減量

口腔機能

- ・摂食・嚥下体操
- ・入れ歯の手入れ

運動・リハビリ

- ・転倒・骨折防止のための運動器等の指導
- ・リハビリの継続

外出・社会参加

- ・買い物、散歩
- ・地域活動・ボランティア等の支援

虚弱（フレイル）高齢者や在宅療養高齢者等への健康支援